

士特科隊達磨「入魂式」

「頂き」を目指す新生士特科隊



やまぶき

(発行所)
11特OB会
(連絡先)
札幌市南区
真駒内17番地
第11特科隊
広報援護室
TEL(011)-581-3191
内線2645



▲隊長による達磨の入魂

隊は、令和五年四月四日、達磨の「入魂式」を行った。本入魂式は、特科隊の全隊員が筆入れを行うことにより全隊員の想いが、入魂され、一年の安全、任務達成及び感染症予防等を祈念するとともに、入魂された達磨が隊員の任務達成に対する思いをひとつにする部隊の「精神的支柱」となることを願い実施された。入魂式では、隊長をはじめ、副隊長、最先任上級曹長及び各中隊長が、新年度の抱負や目標を誓い、訓練最盛期へ向け気持ちを新たにした。式後には、記念写真撮影し、特科隊の更なる団結が強化されるとともに、隊員それぞれが新年度に向け心を一つにした。



▲力強い踊りを披露

隊は、令和五年七月二十九日(土)、小樽市で行われた「第五十七回おたる潮まつり」時は満ちた！躍動の夏」の潮ねりこみに参加した。今年度の潮ねりこみには、士特科隊六十二名を含め、七十五梯団約四千五百人が参加し、大盛況のイベントとなった。ねりこみスタート直後には、指導して頂いた藤間扇玉先生をはじめとした、藤間一門の先生方から、審査前の最後の指導を頂くとともに、ねりこみの終始にわたり、自衛隊小樽協力会会長兼やまぶき会会長の長の大川氏をはじめ、自衛隊協力会・やまぶき会会員の皆様方が現地に駆け付け、激励をいただいた。隊員達は、練習の成果を遺憾なく発揮し、力強さと息の合った踊りを披露して、まつりを大いに盛り上げるとともに、地域住民の自衛隊に対する理解の深化と、協力基盤の醸成に寄与した。翌日には、表彰式が行われ、第十一特科隊は、「審査員特別賞」を受賞した。

第五十七回おたる潮まつり参加

主な記事

- 二面 令和五年度第一回隊訓練等
- 三面 令和五年度旅団至近距離射撃競技会等
- 四面 昇任者・転出者・転入者・退官者の紹介



▲「審査員特別賞」受賞



▲自衛隊小樽協力会・やまぶき会・11特OB会より激励



令和五年度 第一中隊・第二中隊訓練検閲

隊は、令和五年五月二十九日から六月二日までの間、北海道大演習場西岡地区において、令和五年度第一中隊、第二中隊訓練検閲を実施した。

当初、真駒内駐屯地において、各中隊の出動前における、戦闘・戦技能力の練度を確認し、翌日からは、防衛準備における陣地構築及び現代作戦環境下の各種脅威に応じた、射撃中隊の基本的行動及び隊員の基本動作について訓練した。

各中隊は、中隊長を核心とし、統裁官要望事項「戦場の女神たれ」「常に考えて進化せよ」「安全健康を堅持せよ」の三点を具現化すべく、それぞれが練成した成果を遺憾なく発揮して、先遣普通科連隊に火力協力する特科中隊としての任務を完遂した。



▲陣地進入する火砲



▲隊長訓示



▲対空戦闘



▲小火器射撃の練度判定



▲偽装網を活用した火砲掩体

▲第一線救護



▲先行班の偵察行動

令和五年度 第一回隊訓練 (隊実射練成)

隊は、令和五年四月二十一日から四月二十七日までの間、北海道大演習場において、隊実射訓練を実施した。

本実射訓練は、隊実射検閲の目標獲得の序章となる第一歩目の訓練であり、隊一丸となつて訓練に臨んだ。



▲射弾の観測



▲陣地を疾走する火砲



▲実弾射撃

令和五年度 第一回隊訓練 (基本基礎競技会)

隊は、令和五年四月十日、真駒内駐屯地において、令和五年度第一回隊訓練の場を活用し、基本基礎競技会を実施した。

本競技会は、部隊の基本的行動・隊員の基礎動作に係わる能力を向上させる目的で行われ、化学及び衛生技術を中隊對抗で競技した。



▲隊員自ら行う止血



▲機密点検

第十一旅団創立十五周年及び真駒内駐屯地開庁六十九周年記念行事参加

隊は、令和五年六月二十五日、真駒内駐屯地で行われた第十一旅団創立十五周年及び真駒内駐屯地開庁六十九周年記念行事に参加した。

記念行事に先立ち、旅団長感謝状贈呈式が行われ、第十一特科隊に日頃からご支援を頂いている、自衛隊家族会余市支部長の青山由明氏並びに自衛隊小樽協力会理事の横田久俊氏が受賞されました。

記念式典及び観閲行進では、来賓の方々に威風堂々とその威容を披露し、迫力のある行進で観客を盛り上げました。



▲威風堂々とした威容を披露



▲第11特科隊長(柴田1佐)



▲迫力ある観閲行進

令和四年度

服務優秀部隊表彰第三級賞状受賞

隊は、令和五年五月二十六日、第十一司令部庁舎前で行われた、令和四年度服務優秀部隊表彰において、旅団長より、「第三級賞状」を受賞しました。



▲旅団長より賞状を受賞



▲記念撮影



▲「第3級賞状」

令和五年度 旅団至近距離射撃競技会「第三位」

隊は、令和五年五月二十五日、北海道大演習場有明地区戦闘射場において実施された、旅団至近距離射撃競技会に参加した。本競技会は、至近距離射撃能力の向上及び練成意欲を振作する目的で行われた。結果は、戦闘支援・後方支援の部において惜しくも優勝を逃し、第三位となったが、隊の目的として掲げた射撃能力の向上、団結の強化及び士気の高揚を達成し、隊として成果のある競技会となりました。



▲競技前に集中する隊員

▲円陣により心を一つに



▲方向変換射



▲表彰式

▲弾倉交換射撃

令和5年度新隊員への11特OB会激励品贈呈



11特OB会より新隊員に激励品をいただきました。

令和4年度 隊優秀隊員表彰受賞者



本部管理中隊 川上一曹

七月昇任者

三等陸佐 本部管理中隊	石黒 政紀
一等陸尉 隊本部	黒川 修史
第三中隊	藺幸田 卓
二等陸尉 第一中隊	福重 はるな
准陸尉 第二中隊	津久井源揮
陸曹長 本部管理中隊	下館 智史
一等陸曹 第一中隊	竹田 龍弥
同	滝石 光右
第二中隊	鈴木 裕治
同	池田 大助
同	浦場 保
二等陸曹 本部管理中隊	渡邊 辰徳
同	三島 悠太
同	永田 悠次
第一中隊	藤本 航
三等陸曹 本部管理中隊	矢島 大輝
同	井村 直将

八月転出者

本部管理中隊	谷本 輝幸
一等陸曹	〜 輝幸
武器学校(土浦)	〜
一等陸曹	太田 信幸
東部方面特科連隊(北富士)〜	
二等陸曹	合田 豊
第十一後方支援隊(真駒内)〜	
二等陸曹	平塚 康貴
水陸機動団特科大隊(湯布院)〜	
三等陸曹	鈴木 杏奈
東部方面特科連隊(郡山)〜	
三等陸曹	鈴木 嘉恵
第十一旅団司令部付隊(真駒内)〜	
第一中隊	武田 勝
二等陸曹	〜 勝
東部方面特科連隊(北富士)〜	
第二中隊	山口 龍太
一等陸尉	〜 龍太
第十一旅団司令部(真駒内)〜	
二等陸曹	遠山 貴士
東部方面特科連隊(岩手)〜	
第三中隊	五嶋 龍也
二等陸曹	〜 龍也
西部方面特科連隊(北熊本)〜	

八月転入者

本部管理中隊	廣瀬 英之
准陸尉	〜 英之
東部方面後方支援隊(霞ヶ浦)より	
陸曹長	富樫 悟
中央業務支援隊(市ヶ谷)より	
二等陸曹	小出 春葵
東部方面特科隊(仙台)より	
二等陸曹	金山 結己
札幌地方協力本部(札幌)より	
三等陸曹	平原 暁
第三特科隊(姫路)より	
三等陸曹	池谷 賢之
東部方面特科連隊(北富士)より	
三等陸曹	前田 壮一郎
第十即応機動連隊(滝川)より	
第一中隊	渡邊 大輔
三等陸曹	〜 大輔
北恵庭駐屯地業務隊(北恵庭)より	
第二中隊	川村 直人
陸曹長	〜 直人
札幌駐屯地業務隊(札幌)より	
一等陸曹	鈴木 真吾
第一陸曹教育隊(東千歳)より	
第三中隊	杉澤 慶三
二等陸曹	〜 慶三
岩見沢駐屯地業務隊(岩見沢)より	
三等陸曹	小出 夏未
東部方面特科隊(仙台)より	

定年退官者



OBの方へ連絡とお願い

一 入門証について
現在、期限切れの入門証をお持ちの方で、今後も必要とされる方は、更新手続きをお願いいたします。手続きに関しては、「特科隊広報支援室」にて行います。

電話〇一一―五八一―三一九一
(内線二六四七) 担当 籾本

二 叙位及び死亡叙勲に
関する手続きについて
自衛隊員として勤務され、在職中の功績と一定の要件が満たされた方は叙勲の対象となります。特に死亡叙勲は、ご遺族からの申し出によって手続きを進める事になりますが、手続きの期間が限られており、この期間を過ぎますと叙勲が受けられなくなります。万が一ご本人がご逝去された場合は、死亡日を含め五日以内に最寄りの防衛省各機関等へ連絡下さいますことをご家族皆様へお伝えいただくようお願い申し上げます。

三 その他
第十一特科隊では、隊員の活動状況等をホームページに掲載しています。是非ご覧ください。「第十一特科隊」を検索又は、下記のQRコードからアクセスできます。



昇任おめでとう
ございます。
益々のご活躍を
期待しています。

十一特科隊での勤務
お疲れ様でした。

ようこそ十一特科隊へ
ようこそお願ひします。